

平成 27 年度 東北大学『軽水炉安全セミナー』

日程：平成 27 年 9 月 26 日（土）10:20 ～9 月 29 日（火）16:10

会場：東北大学 青葉山キャンパス
工学研究科 量子エネルギー工学専攻 大講義室

開講趣旨：

2011年3月の福島第一原子力発電所事故を契機として、原子力エネルギーの利用について様々な視点、立場からの議論が続いています。どのような立場に立った場合でも、最重要かつ不可欠な要素は、最も高度な安全性です。我が国のエネルギー・セキュリティ、温室効果ガス削減、経済性の観点からは、エネルギーの長期的安定供給に果たす原子力のポテンシャルは依然として大きく、軽水炉による原子力発電を継続して利用していくためには、福島第一原子力発電所の廃止措置を確実に実施するとともに、並行して軽水炉の長期的な信頼性、安全性の確保とその絶え間ない向上が必須です。

東北大学は「東日本大震災からの復興・新生の先導」を全学ビジョンとして掲げ、その実現のために「福島第一原子力発電所の廃止措置への貢献」を最重要課題の一つとしています。廃止措置を安全に遂行するためには、原子力発電所の安全設計や安全管理、設備管理などの基礎/基盤的事項はもちろんのこと、福島第一発電所の現状や過去の炉心損傷事故、今後必要とされる廃止措置技術などに関する深い理解が必要です。本学セミナーでは、原子力発電所のリスク解析手法やそれを踏まえた安全管理、過酷事故対策、経年劣化を考慮した設備管理などのほか、福島第一発電所の現状、過去の炉心損傷事故の教訓、廃炉研究の現状と課題、技術開発課題に対する各種の取り組みなどについて講義します。加えて、廃止措置時の鋼構造物健全性確保における腐食劣化評価の考え方や燃料デブリの基礎と処理・処分、リスク・コミュニケーションなどの学術的な基盤の現状について講義します。

講師陣は、東北大学の原子力工学分野の教員その他、米国 MPR 社、東京電力(株)、中部電力(株)、日本原子力発電(株)、国際廃炉研究開発機構、(独)日本原子力研究開発機構、日立 GE ニュークリア・エナジー(株)からキーパーソンを講師に迎えて密度の高い講義を提供します。電気事業者、発電設備メーカー、関係研究機関の技術者・研究者はもとより、行政機関等で原子力安全に携わる方々にも有益な内容となっています。是非ご参加下さい。

平成 27 年度 東北大学『軽水炉安全セミナー』プログラム

	9月26日(土)	9月27日(日)	9月28日(月)	9月29日(火)
1限 (8:50-10:20)	10:20-10:30 開講趣旨説明 渡邊 豊(東北大学)	確率論的リスク評価とその使い 方の基礎 (電中研: 平野光将)	我国におけるシビアアクシデント 対策の歴史と新規制基準要求 (東北電力: 佐藤大輔)	リスク・コミュニケーションの基礎 (東北大学: 高橋 信)
2限 (10:30-12:00)	Key Points for Effectively Achieving Safety In Commercial Nuclear Power Plants (米国 MPR: Douglas Chapin)	福島第一原子力発電所の 現状と今後の展望 (東京電力: 山下理道)	福島第一の廃炉のための 技術戦略プラン (NDF 福田俊彦) 福島第一の廃炉研究開発の 現状と課題 (IRID: 桑原浩久)	燃料の固体化学と燃料デブリの基礎 (東北大学: 佐藤修彰)
3限 (13:00-14:30)	原子力発電所の 安全管理、設備管理の考え方 (東北大学: 青木孝行)	TMI 及びチェルノブイリの経験から 学ぶもの、福島へ反映できるもの (東北大学名誉教授: 若林利男)	廃炉作業に伴うロボット技 術の開発と現場適用の状況 (日立 GE: 米谷 豊)	燃料デブリの処理 (JAEA: 鷲谷忠博)
4限 (14:40-16:10)	浜岡原子力発電所 1, 2号機を 活用した材料研究 (中部電: 熊野秀樹)	原子炉廃止措置への取り組み状況 (東海発電所の現場工事経験を 踏まえて) (原電: 山内豊明)	腐食に及ぼす放射線影響 (JAEA: 山本正弘)	放射性廃棄物の処分 (東北大学: 新堀雄一)
5限 (16:20-17:50)	鋼構造物健全性確保における 腐食劣化評価の重要性と考え方 (東北大学: 渡邊 豊)			—

- 受講料(4日間): 無料 (懇親会参加者は参加費別途) ■募集人員: 15名
- 申込方法: 公開講座の受講申込書をご記入の上、下記まで郵送またはメール添付でお申し込みください。なお、ファイルが開けない場合は、郵送又はFAXにて対応いたします。
- 申し込み先・郵送先: 東北大学工学部・工学研究科 教務課大学院教務係 (〒980-8579 宮城県仙台市青葉区荒巻字青葉 6-6-04)
TEL : 022-795-5820 E-mail : eng-koukai@bureau.tohoku.ac.jp
申し込み締め切り: 平成27年9月24日(木)
- 問い合わせ先: 東北大学工学研究科 量子エネルギー工学専攻 渡邊 豊 (022-795-7910 E-mail : yutaka.watanabe@gse.tohoku.ac.jp)

平成27年9月

リカレント教育講座受講予定者 各位

東北大学工学部・工学研究科教務課大学院教務係

TEL: 022-795-5820 FAX: 022-795-5824

E-mail: eng-koukai@grp.tohoku.ac.jp

リカレント教育講座「**軽水炉安全セミナー**」の受講手続きについて（お知らせ）

このことについて、別紙「受講申込書」に必要事項をすべて記入のうえ、下記によりお手続き願います。

なお、講義スケジュール、講義内容、及び受講上の留意事項等については、本研究科のウェブサイト <http://www.eng.tohoku.ac.jp/edu/extension.html> をご参照願います。

記

- 1 申込期日 **9月24日（木）まで**
※受付時間は、平日の午前8時30分から午後4時45分までとします。
なお、土・日・祝日は受付できませんのでご注意願います。
- 2 申込方法 別紙「受講申込書」（必要事項を全て記入）を下記申込先あてに郵送するか直接ご持参願います。
- 3 申込先 **東北大学工学部・工学研究科教務課大学院教務係（中央棟3階）**
〒980-8579 仙台市青葉区荒巻字青葉6-6-04
- 4 その他
本学が保有する個人情報は、「独立行政法人等の保有する個人情報の保護に関する法律」等の法令を遵守するとともに、「国立大学法人東北大学個人情報保護規程」に基づき厳密に取り扱い、個人情報保護に万全を期しています。

リカレント教育講座受講申込書

講 座 名	軽水炉安全セミナー		
氏 名 (年齢)	(ふりがな) _____ _____ (____才)		
住 所	〒 _____ - _____ _____ _____ TEL : (____) _____ - _____ E-mail : _____ ※各種連絡に必要ですので、E-mail アドレスは必ず記入してください。		
最 終 学 歴	<input type="checkbox"/> 高校卒 <input type="checkbox"/> 高専卒 <input type="checkbox"/> 大学卒 <input type="checkbox"/> 大学院修士修了 <input type="checkbox"/> 大学院博士修了 <input type="checkbox"/> その他 (_____) ※該当する□にチェックしてください。 昭和・平成____年____月 : _____ 大学 (大学院) _____ 学部・研究科 _____ 学科・専攻 卒業・修了 ※差し支えなければ大学名等を記入してください。		
勤 務 先	勤務先の名称 : _____ 〒 _____ - _____ _____ _____ TEL : (____) _____ - _____ E-mail : _____ ※各種連絡に必要ですので、E-mail アドレスは必ず記入してください。		
	<table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <tr> <td style="width: 30%; text-align: center; vertical-align: middle;">※受付年月日 (記入不要)</td> <td style="text-align: center;">受 付 : 平成 年 月 日</td> </tr> </table>	※受付年月日 (記入不要)	受 付 : 平成 年 月 日
※受付年月日 (記入不要)	受 付 : 平成 年 月 日		